

平成30年第12回

かほく市教育委員会議事録

平成30年12月18日

議 事 録

平成30年第12回かほく市教育委員会議事録		
招集年月日	平成30年12月18日(火)	
招集の場所	かほく市役所 203会議室	
開 会	平成30年12月18日(火) 午後3時00分宣告	
出席委員	教育長 山越 充	
	教育長職務代理人 山本 滝 男	
	松井 三枝子	
	長柄 悦子	
	紘野 武利	
欠席委員	なし	
説明のため出席した者の職氏名	教育部長 山口 吉 男	
	学校教育課長 笹山 明 夫	
	生涯学習課長 折戸 靖 幸	
	学校教育課 課長補佐 北川 直 紀	
	教育センター所長 西尾 康 弘	
会議に職務のため出席した者の職氏名	学校教育課 主査 杉角 浩 一	
議事録署名委員の指名	教育長は、議事録署名委員に次の2人を指名した。	
	松井 三枝子	長柄 悦子

会議に付した事件並びに審査結果	議案番号	件名	結果
		案件なし	
	請願・陳情番号	件名	結果
		案件なし	

協 議 ・ 報 告 事 項
<p>(1) 第2期かほく市教育振興基本計画について</p> <p>(2) 平成30年度かほく市特別支援教育推進委員会の結果について【非公開案件】</p>

開 会

【山越教育長】

平成 3 0 年第 1 2 回かほく市教育委員会を開催します。

議事録署名委員の指名

【山越教育長】

議事録署名委員の指名をします。署名委員として松井委員、長柄委員を指名します。

前回議事録の承認

【山越教育長】

前回議事録の承認ということで、事務局より説明願います。

【笹山学校教育課長】

(1 1 月 3 0 日開催の議事録にて説明)

【山越教育長】

前回議事録について何かご意見、ご質問はありますか。

(意見・質問なし)

【山越教育長】

ご意見等ないようでありますので、前回議事録は承認されました。

教育長の報告

【山越教育長】

それでは、教育長の報告をします。今年も残り 2 週間となりました。今週末に、教育事務所から学校訪問の総括ということで、報告を受けることになっており、概ね順調に進んでいると思います。

そのような中、1 1 月に入り不登校傾向の子供が増えている点が気になっています。不登校傾向とは、年間の欠席日数が 3 0 日になると不登校傾向とカウントされ、年度当初は 2 5 人でスタートし、これまで 3 0 人台でおさえられていましたが、1 1 月に増加している状況となっております。

また、前回 1 1 月 3 0 日の教育委員会以降、いろいろな行事が毎週のようにありました。その中でも特に、1 2 月 2 日には毎年恒例になっている女性団体連絡協議会の市政座談会が開催されました。今回、教育長が答弁した中では、「不審者対策のために親子で護身術講座を学校で開催したらどうか」というご提案がありました。私の答弁は、「不審者対策あるいは、様々な危機管理対策については、学校ではいろいろな取組をしている。護身術をどうとらえるかということもあるが、守るというよりもまず逃げることが大事だと考えている。また、最近の不審者の動向からいうと、目に見える不審者というのはだんだん減っている。一方、スマホやインターネット、SNS などの関係事案が全国的に増えている状況であり、その対策についてしっかりと取り組んでいく必要がある」という話をさせていただいた。

1 2 月の議会定例会が先週終了しました。一般質問では、特別支援教育支援員の配置

についての質問。通学カバンの重さのことについて質問がありました。

特別支援教育支援員の質問については、来年度は、現在の15名から17名に増員配置し、現在配置されていない宇ノ気中学校と金津小学校にも配置し、全校配置ということで進めていきたいと答弁させていただきました。全校配置ということが、新聞には大きく取り上げられましたが、今後も全校配置にこだわることなく、その時の教員の数あるいは、子供の状況に応じて、配置していきたいと考えています。

また、通学カバンについての質問では、小学校については、抽出調査した結果、報道されているような7キログラムという重いカバンを持っている子はいなかったが、中学校では、10キログラムを超える生徒がおり、具体的には、各中学校で、子供たちに家庭学習の見通しを持たせ、宿題や使用予定のない教科書や教材、学習用具は学校に置いて行ってよいことを認めるなどの取組を始めているという答弁をさせていただきました。

以前の教育委員会の会議で、少し話をしました総合体育館の基本構想についてですが、教育委員会で基本構想の取りまとめをするという話をしておりました。これまでに12月10日にスポーツ推進審議会からご意見を伺い、12月13日には、体育協会の役員会の皆さんにもご意見を伺いました。今晚、スポーツ推進委員会の皆さんから、ご意見を伺うことになっています。総合体育館の基本構想の取りまとめについては、1月の教育委員会にて最終的な構想の取りまとめを行いたいと思いますのでよろしくお願ひします。その際には、それぞれの審議会や委員会での意見もあわせて報告をさせていただきますと思っています。

以上で教育長の報告とします。何かご質問等ありましたらお願いします。

【山本教育長職務代理者】

不登校の数は、現在、何人いますか。

【西尾教育センター所長】

45人になります。小学校が、16人。中学校が29人。この数は、不登校傾向の人数ということになります。

【山本教育長職務代理者】

中学校で増えたのは3年生ですか。

【西尾教育センター所長】

3年生となっています。中学校については全国平均よりも低い数値となっていますが、小学校は、高い数値となっています。

【山本教育長職務代理者】

次に通学カバンの重さについてですが、自分で判断して置いていくということで、マイナス面が危惧される。自分で判断して全部置いていくという子が増えて、教科書等を持ち帰らないで、このまま登校してくるような子供たちが出てこないように指導をうまくしてほしい。

もともと中学校は、部活動の道具が多いことが心配されていた部分なので、カバンの中身について心配していたことは今までなかった。特に中学校は、先生の働き方改革で余計な指導が増えてこないようにしてほしいと思います。

【笹山学校教育課長】

子供たちの様子を見ながらそういう傾向が見えてきた場合には、生徒指導中心に対応していきたい。

【山本教育長職務代理者】

自転車通学の生徒が、セカンドバックを後ろに積んで、ふらふらしている状況があるので、今後の課題として部活動の道具についても検討してほしい。

【笹山学校教育課長】

中学校では、教科書等は、自分で家庭学習を考慮しながら判断し、持ち帰る、置いていくというような取組を行っていますので、それを部活動の面でも判断し、顧問の方からもできるだけ軽量化を図るということを検討していきたい。

【山本教育長職務代理者】

生徒指導上、学力の部分でマイナスにならないようにしてほしい。

【山越教育長】

ほかに質問はありますか。

【松井委員】

不登校について、12月13日の新聞に、不登校傾向の中学生が33万もいて、10人に1人が不登校という記事を見ながら気になっていた。石川県全体の不登校の推移は、どうなっているのか。

また、スマホ被害について、かほく市の現状はどうなっているのか。

【西尾教育センター所長】

不登校については、5年連続増えています。全国的にもかなりトップの数字を示しているということで非常に深刻な問題と捉えているという話を県から聞いています。学力は高いのですが、不登校の数も高いということです。

【松井委員】

現在、石川県の学力は高いが不登校の数も高いということで、人間関係というよりも授業についていけないという感じがしますが、そういう調査は石川県の方で行っていないのか。傾向が見えるものはあるのか。

【西尾教育センター所長】

特に学力と不登校の関係については、調べていないと思います。

【笹山学校教育課長】

不登校の理由については、国の調査でもそうですが大体が複数回答となっているので、メインが何なのか、特にはわかりません。一人につき3つ4つの理由があるので、なかなか傾向をつかむのが難しい。

また、スマホ等によるSNSの被害ですが、友達どうしのトラブルで不適切な言葉の書き込みがあるとは聞いているが、大きな被害というのは、今のところ聞いておりません。

【折戸生涯学習課長】

愛護センターでも、そのような話は伺っておりません。

【山越教育長】

愛護センターは、どちらかというところと不良行為、徘徊など補導員を中心に行っていました。しかしながら、児童生徒の通信機器の所持率が高く、何らかの通信を利用しているという現状であり、これからはSNS被害という視点を加え、学校の生徒指導部会とも連携していかなければならないと考えています。

【長柄委員】

置き勉を認めているとのことですが、中学校で特定の学年での置き勉が多いというの
はあるのか。

【笹山学校教育課長】

どの学年もそんなに変わらないと思います。教科そのものがそれほど変わらないので、
大体同じくらいだと思います。

【山越教育長】

実際に取組を開始したのは12月からなので、そのあたりは教育委員会で統一したと
いうより、学校長の責任により始めた取組であるので、もう少し様子を見て、どんな傾
向か、また弊害があるのかがわかってくるとと思います。

その他、ご意見が無いようであれば、協議報告事項に移ります。

協議・報告事項

(1) 第2期かほく市教育振興基本計画について

(2) 平成30年度かほく市特別支援教育推進委員会の結果について【非公開案件】

【山越教育長】

協議報告事項の1点目の第2期かほく市教育振興基本計画について、事務局から説明
願います。

【北川学校教育課課長補佐】

(第2期かほく市教育振興基本計画の今後のスケジュール、修正部分等について説明)

【山越教育長】

説明が終わりました。本日で取りまとめを終えるということですので、第1章から順
に確認し、ご意見についての方向性も確認したいと思います。

第1章について、委員の方から質問、ご意見はありませんか。

【山本教育長職務代理人】

字句について、漢字で記載されている部分もあればひらがなで記載されている部分も
ある統一した方がよい。

【山越教育長】

次に第2章について、委員の方から質問、ご意見はありませんか。

【山本教育長職務代理人】

教職員の多忙化についての、市の勤務状況調査結果の表は、小学校、中学校での80
時間超の教職員の比率が分かるようなものがよい。

【山越教育長】

次に第3章について、委員の方から質問、ご意見はありませんか。

(質疑なし)

【山越教育長】

次に第4章について、委員の方から質問、ご意見はありませんか。

【山本教育長職務代理人】

数値目標の中で、全国学習状況調査の回答割合になっているものがいくつかあるが、
これは「A」評価(当てはまる)、「B」評価(どちらかと言えば当てはまる)を足したも
のがわからないのではないか。また、表現も統一した方がよい。

【北川学校教育課課長補佐】

基本的には、「A」評価の数値を目標としています。一部で「A」「B」評価を足した目標については、その旨を記載してあります。表現は統一させていただきます。

【山越教育長】

今回の計画で新たに総合体育館整備の記載とかほく市の地誌編纂事業に取り組むことを記載しています。この辺りについて皆さんよろしいでしょうか。

【山本教育長職務代理者】

合併前に各町で町史を発刊しているが、各町のこれまでの発刊から合併前までの間も抜けており、地誌編纂は大切なことである。

また、公民館についての記載について、公民館のあり方や活用について、もう少し突っ込んだ取組や実践計画が欲しいと思うがどうか。

【折戸生涯学習課長】

条例上の公民館は公の施設としての21の公民館が設置されておりますが、実質は地域の主体性による運営がなされております。

地域の交流の場、地域の拠点としては、公民館、集会所、コミュニティ施設などあり、合併以降も管理運営形態に相違があることから、あり方を再検討していきたいという考え方で記載させていただいております。

【山越教育長】

かほく市の現状を考えた時に公民館だけを捉えて記載するよりも、地域コミュニティ活動、コミュニティ施設として、今後どうしていけばよいかを記載した方がよいと思っている。確かに山本委員がおっしゃったとおり、ソフトの部分についての記述がないということはあると思います。

【折戸生涯学習課長】

公民館については、全国的にもその位置づけは、各自治体の考え方によってバラバラな状態です。かほく市の場合は、拠点となる施設の名称は違いますが、地域が主体となつての取組には変わりはありません。それを公民館活動というか、自治会活動というかの違いであって、企画している人も参加している人も地域の方々には変わりはないということです。そういった事を考えると地域コミュニティ活動の拠点として、交流の場、学びの場として、行政として支援を図っていくという事は大切なことだと思っています。

【山越教育長】

地域のコミュニティ活動については、追記することといたします。その他ありませんか。

【松井委員】

今ほどの公民館の部分の数値目標の「地区公民館等のコミュニティ施設のあり方に関する見直しと整理」について、目標値は「実施」となっているが、見直しを始めるのが2023年なのか、「実施」の意味が不明である。

【折戸生涯学習課長】

2023年までに見直しを終え、新たな支援を行うという意味での「実施」になります。

【山越教育長】

その他ありませんか。

【鮎野委員】

基本目標3の生涯学習関係に「哲学館」と「うみっこらんど七塚」の取組が記載されているが、基本目標4の郷土の自然、歴史など「ふるさと学習」の方がなじむのではないかな。

【山越教育長】

鮎野委員のご意見については、おっしゃっていることはよくわかります。皆さんどうですか。博物館関係の記載については、現計画も基本目標3の生涯学習関係に記載されておりますのでこのままでお願いしたいと思います。

【山越教育長】

その他ありませんか。

【鮎野委員】

基本目標5－(1)「生涯にわたるスポーツ活動の振興」の課題で女性の活躍が記載されているが、それに基づく取組が同じような記述になっているので修正した方がよい。

また、基本目標5－(3)「スポーツ団体の育成支援と連携」の課題の下2つが同じような事を言っているなので、修正した方がよい。

あと、基本目標5－(4)「スポーツ活動を支える環境の整備・充実」の「スポーツによる地域活性化の促進」の項目で、トップアスリート、トップスポーツチームのことが記載されていない。項目の名称を変えるか、もしくはトップスポーツ以外の地域活性化の内容を追加した方がよい。

【山越教育長】

その他ありませんか。

【長柄委員】

元号の表記について、平成31年以降は西暦に統一した方がよい。

【山越教育長】

その他意見がないようでしたら、今ほどのご意見に対して修正は、教育長に一任をいただき、第2期かほく市教育振興基本計画の素案として取りまとめ、総合教育会議でお諮りしたいと思いますのでよろしくお願いします。

(異議なし)

【山越教育長】

次に2点目の平成30年度かほく市特別支援教育推進委員会の結果について、事務局から説明をお願いします。なお、この案件については、非公開で行うことにさせていただきますので、よろしくお願いします。

(非公開)

【山越教育長】

ここまでの内容を非公開といたします。その他から通常の会議といたします。

その他

【山越教育長】

その他ということで、事務局から説明願います。

【折戸生涯学習課長】

(第15回成人式における新成人者の役割、第15回立志式における記念講演の講師について説明)

【北川学校教育課課長補佐】

(総合教育会議の日程調整について説明し、1月24日(木)午後2時からに決定)

【笹山学校教育課長】

(市教委学校訪問の日程について説明)

【北川学校教育課課長補佐】

(1月の行事予定、卒業式・入学式の臨席について説明)

【山越教育長】

教育委員からその他ということで、何かありますか。
(質疑なし)

【山越教育長】

(次回開催日を協議し、1月24日(木)総合教育会議終了後に決定)

閉 会

【山越教育長】

以上で、平成30年第12回かほく市教育委員会を終了します。お疲れ様でした。

午後5時05分 閉会

教 育 長 山 越 充

署名委員 松 井 三 枝 子

署名委員 長 柄 悦 子